

アカデミック・サポートセンター(ASC)の近況などを報告します。第6号では、学部・学科等紹介イベントと同時開催した「ASC進学相談会」の様子と、第2学期の学習サポートとセミナーの状況をお伝えします。また、第2回アカサポ・コラムを掲載します。

進路相談会の様子

9月25、26日に、総合入試の学生向けの学部移行ガイダンスと学部・学科等紹介が高等教育推進機構で行われました。学部・学科等紹介の当日は、ASCも、スタッフとアカデミック・アドバイザー(兼任教員)による進路相談会を開催しました。

本年度の相談会では、延べ27人の利用がありました。「教員免許が取りたいが、〇〇学部で取れるか」「将来は医療系の仕事に就きたいが、どの学部・学科が良いか」といった卒業後の進路を見据えた相談や、「自由設計科目の変更方法を教えて欲しい」「移行点の計算法がわからない」といった履修や移行システムについての質問がありました。

来年2月に、2回目の学部・学科等移行ガイダンスが行われます。ASCは今回と同様、進路相談会を開催する予定です。



進路相談会(9月26日)の風景
個別ブースを設置し、質問・相談に応じました。

第2学期学習サポートとセミナーの状況

ASCは、スタッフと大学院生チューターが個別対応型の学習サポートを実施しています。第2学期は、11月末日時点で、延べ540人の利用がありました。利用者は昨年度同時期と同程度で推移しています。相談科目について、これまでと同様、数学、物理、化学の質問が多く寄せられています。例年、学期末試験期には相談件数が増加することから、今年度もチューターを増員し、時間を拡大して対応する予定です。

また、ASCは、初年次学生向けのスタディ・スキルセミナーを開催しています。第2学期は、「レポートの書き方」について、①序論の中には何がある? ②「説明する」とは何をすることか ③論理的な書き方とは の3つのテーマを扱いました。今回は、昼休みの時間帯を中心に開催し、延べ29人の利用がありました。

また、ASCと図書館の連携企画として、学部学生と院生を主な対象とした「スキルアップセミナー」を開催しました。第1回目は「プレゼンテーションのツボ」と題して、10月末～11月に計3回、図書館本館のリテラシールームで行いました。プレゼンで陥りやすい誤った考え方を防ぐ方法や、スライド作成のスキルについて、聞き手参加型のセミナーを開催しました。学生から院生、教職員の方まで延べ84人の参加がありました。当日実施したアンケートの結果をもとに、今後のスキルアップセミナーの内容と開催時間帯を改善していきます。

スキルアップセミナーの発表資料はHUSCAPのホームページ(<http://hdl.handle.net/2115/50418>)で閲覧することができます。



スタディ・スキルセミナーの様子



スキルアップセミナーの様子

アカサポ・コラム Academic Support Center Column vol. 2

アカサポ・コラムはASCスタッフの生の声をお届けします。第2回は、アカデミック・アドバイザー*の望月先生のコラムを掲載します。*ASCでは、学部横断的な進路相談に対応するアドバイザー(兼任教員)を配置しています。

「アカデミック・アドバイザーとして」

望月 恒子

アカデミック・アドバイザー
文学研究科 教授



アカデミック・アドバイザーをお引き受けして2年になります。アカデミック・アドバイザーは、主に総合入試で入学した学生からの、学部横断的な進路相談に応ずる役目です。私は文系一般の担当なのですが、ご承知のように、文系は学部別入試の枠が大きく、理系と比べて進路相談自体の数が少ないので、実はアドバイザーとしての出番はほとんどありません。私は、「絵に描いた餅」よろしく、組織図の片隅に載せられているに過ぎません。けれども、この2年間を振り返ると、アカデミック・サポートセンター(ASC)の活動を、ごく初期から知ることができたのは、教員として得難い経験であったという気がしています。

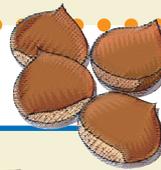
ASCでは、北大で博士の学位を取得した若き研究者たちが、主に1年

次学生を対象に、進路・履修相談や学習サポートなどの学生支援を行っています。私は進路・履修相談を、傍で少し見聞する機会があり、様々な内容の相談に関するスタッフの対応には、明らかに共通点があると感じました。それは第一に、履修制度や進路選択の仕組みに関する情報が的確で豊富なこと。第二は、相談に訪れた学生に情報は与えるが、指示はしないということです。情報を提供した上で、学生本人に考えさせ、決定させるという方針が、見事に貫かれていると思います。二点とも当然すぎることで、学部の教務委員などの経験から、自分自身がその難しさを痛感していますので、あえて紹介しました。

入試制度の変更の後では、大学の教育力が大きく問われることにな

ります。北大の教育力を結集するにあたり、ASCという新組織の果たす役割は大きいと言えるでしょう。

最後に、アドバイザーの立場を離れて、全学教育担当の教員として、一言つけくわえます。総合入試で入学してきた学生たちは、大いに勉強しており、私が開講している外国語演習でも、熱心な受講者がめだちます。ただ、外国語演習では入門レベルに受講生が集中する状況が見られ、語学に携わる者として、少々残念に思っています。言語を深く学ぶことは、とても知的な営みです。「入試を終えた今こそ、点数に関係なく、広さにおいても深さにおいても、存分に学べるよきなのに!」と言いたい思いもあります。中級や上級にも、ぜひ挑戦してほしいものです。



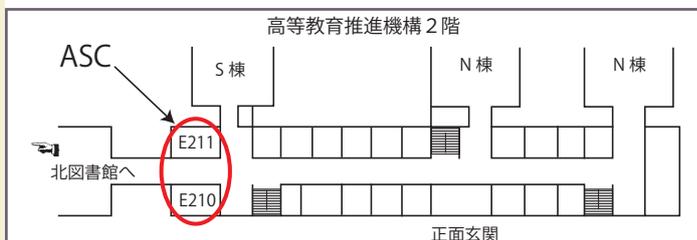
スタッフの
つぶやき

主題別科目「人間関係の科学」を担当して



教育学研究院の松田先生の依頼により、表題の科目の一回分の授業をASCで初めて担当しました。内容は、学部選択に悩んでいる仮想学生に対して、適切な質問とアドバイスを小グループで考察するというものです。他者の相談に応じるシミュレーションを通じて、アドバイジングを学ぶだけでなく、学生自身が進路選択に困ったときのヒントになるのではないかと思います。受講者が100名以上なのでグループワークが成立するか心配でしたが、TAの方にも手伝ってもらい、無事に終えることができました。

(N.M.)



アカデミック・サポートセンター

〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目
北海道大学 高等教育推進機構 2階
E210(相談) / E211(学習サポート)

T E L 011-706-7526

E-mail asc@high.hokudai.ac.jp

U R L <http://asc.high.hokudai.ac.jp>



2012年12月6日発行